

**第3次千葉県生涯大学校マスタープラン(原案)及び
千葉県生涯大学校設置管理条例の一部を改正する条例案に関する意見に提出された御意見と県の考え方について**
※いただいた御意見について、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきます。

区分	御意見の概要	県の考え方
地域活動の担い手育成についての御意見	<p>「造形学部は学生の人気は高いものの趣味的要素が強く、地域活動・ボランティアに繋がったとする学生の割合は健康・生活学部と比べて低いことなど、地域活動に繋がりにくいといった面がある」とありますが、趣味的要素の何が悪いのですか。</p> <p>(陶芸コースについて)週2日ずつ1年間学んだだけで人に教えるほどの技術が身に付くとは思えません。再入学ではなく、「技術習得コース」として延長して学ぶ機会を与えてください。</p> <p>(P12) 学習の目標に「地域活動につながる知識や技能の習得」と「仲間とともに活動するノウハウの習得」とありますが、陶芸科はこの目標を十分達成していると思います。</p> <p>70代からの高齢化した人間に最も必要なのは生きる目的と意欲です。60代の高齢者は大いに地域活動に没頭しボランティア活動に努めればよいと思うが、70、80代からはいかに趣味を活かして、同じ趣味の仲間と時間を共にする場で有っても良いような気がするのです。</p> <p>生大の本来の目的は、生涯にわたって生きがいを持って生き生きと活動していくための礎を築いていくことを目的とすべきだと思います。</p> <p>同じ趣味を持った高齢者が集い過ごせる場を提供していただきたい。延いてはその高齢者が地域を元気づけていくことにも繋がると思う。</p>	<p>今後の超高齢社会においては、高齢者が役割と生きがいを持って地域で活躍していくことが、地域社会の活性化と、高齢者自身の双方にとって重要であり、生涯大学校も、こうした観点から、高齢者の社会参加を支援していくことが求められています。</p> <p>このため、第3次千葉県生涯大学校マスタープラン(案)では、生涯大学校の役割として、地域活動の担い手育成の機能を強化するとともに、学生の意欲や能力、さまざまな得意分野を活かした形での社会参加につながるよう、コースの再編等を行うこととしています。</p> <p>具体的には、現在の健康・生活学部について、より魅力ある学習内容とするため、これまでの地域福祉分野に加え、観光・歴史・自然環境保全等の分野を学ぶコースを設置することや、現在の造形学部を含め、全ての学部・コースにおいて、地域活動や健康づくりなどにつながる学習内容を取り入れることとし、これにあわせて、学部の一元化や、陶芸コースの名称変更と修業年限の見直しを行うこととしています。</p> <p>引き続き、高齢者の“生きがい・健康・仲間づくり”の支援や、学習・活動の場の創出を生涯大学校が果たすべき役割とし、生涯大学校がより多くの高齢者にとって魅力ある学びの場となるよう今後も取り組んでまいります。</p>
	<p>地域活動で期待される人材像に「支える側」の具体例として、介護保険と両輪といわれる成年後見制度、特に市民後見人の知識と参加を呼び掛けてほしい。</p>	<p>高齢化が進む中、市民後見人の育成を含めた成年後見制度の普及・活用促進が必要であると認識しています。</p> <p>いただいた御意見については、今後、カリキュラムを作成するにあたり検討させていただきます。</p>
	<p>P7(1) 地域活動の担い手育成</p> <p>【現状と課題】の中『高齢者の社会貢献が期待されています。』への意見。「具体的に何が出来るのか、また、その継続性はどうか推進していくのか」内容が不明なので伺いたい。</p>	<p>高齢者の方々が地域で社会貢献をしていただく例について、プラン(案) P9に「地域活動で期待される人材の例」として記載しています。</p> <p>また、地域活動への参加を継続していただくために、市町村や地域活動団体との連携・協働、コーディネーターの役割強化、大学等教育機関との連携を図るなど、地域における活躍を促進するための取り組みを進めてまいります。</p>
記述に対する御意見	<p>P10(2) “生きがい・健康・仲間づくり”を支援</p> <p>【今後の方向性】『「生きがい・健康・仲間づくり」の場と機会の提供』の後に、「及び活動の奨励」を追加する。支援としては、場所、機会だけというのは消極的すぎるのではと思います。</p>	<p>プラン(案) P7では、生涯大学校の存在意義と果たすべき役割として「地域活動の担い手育成」を掲げており、意欲のある高齢者の活躍を促進することとしています。</p> <p>また、卒業生組織との連携を図るとともに、卒業生組織の立ち上げについても支援していくこととしています。</p>
	<p>マスタープランの検証時期を〇年後と明確に記載すべき</p>	<p>計画期間は令和6年度から令和10年度までの5年間としており、この間、プランの進捗状況の確認や効果検証を行い、効果的・効率的な運営を図ります。</p>
学習内容についての御意見	<p>情報機器の利用率を上げるためのカリキュラムの導入が必要。情報化社会のメリットを高齢者も享受できるように授業科目の導入をすべき。授業のために配付する紙ベースの教材はネットでの配信に切り替えることも検討してください。</p>	<p>社会のデジタル化・ICT化が進展する中、高齢者もできる限りこうした動きに対応していく必要があることから、第3次プランでは、学習カリキュラムの見直しを行い、ICT利活用に係る知識等の習得を支援することとしています。</p> <p>授業教材に関する御意見については、今後の運営の参考とさせていただきます。</p>

区分	御意見の概要	県の考え方
その他の御意見	<p>具体的な資格取得へのフォローアップ案の提示が必要。やる気への引き出しとその後の具体的な地域活動への活性化に繋げる必要があると思います。</p> <p>習得で終わらせることなく、それを生かす具体的な方策が大切。担当者さんだけの絵に描いた餅にならないようにしていただきたい。</p>	<p>学生の資格取得の支援として、各種資格について情報を収集し、必要とする学生に提供することとしています。これにより、さらに幅広い学習意欲や地域活動意欲の醸成にもつなげていきます。</p>
	<p>生涯大学のPR不足。メディアを駆使してPRを推進してください。</p>	<p>生涯大学の存在意義の周知や入学者確保のため、広報の充実に力を入れることとしています。学校の様子や卒業生の地域活動情報をホームページやSNSを活用して発信するなどの取組を進めてまいります。</p>
	<p>人生100年時代を迎え、学びなおしの視点での取り組みを入れてほしい。特に経済産業省が進めるデジタル時代の人材政策は高齢者にも必要。</p>	<p>社会のデジタル化・ICT化が進展する中、高齢者もできる限りこうした動きに対応していく必要があることから、第3次プランでは、学習カリキュラムの見直しを行い、ICT利活用に係る知識等の習得を支援することとしています。</p>
	<p>生大在校生、卒業生の地域活動のために、各市町村に担当部署、担当者を置き、各地のOB会との定期的な協議の場を設けてほしい。各市町村にはさまざまな高齢者支援対策が設定されているものの、生大の卒業生との連携がない。</p>	<p>第3次プランでは、学生や卒業生の地域での活躍を促進するため、市町村等との連携を強化するとともに、生涯大学校や卒業生団体の活動について積極的に情報発信を行うこととしています。</p> <p>いただいた御意見については、今後、取組を進める上での参考とさせていただきます。</p>
	<p>自身は防犯パトロールメンバーの一人として日々活動しているが、これ等の実施効果のチェックも成果向上のステップアップとして必要と思われるので、PDCAのチェックをお願いします。</p>	<p>第3次プランでは、卒業後の地域活動の分野として「防災・防犯」を挙げており、防犯パトロール等を行う人材の活躍が期待されています。</p> <p>いただいた御意見については、今後、地域における活躍をより一層推進するための参考とさせていただきます。</p>
	<p>(地域活動団体との連携強化について) 地域包括支援センター等との協力強化をお願いしたい。自身は包括支援センターの認知症予防サークル活動のサポーターとして活動しているが、千葉県からのバックアップ体制が感じられない。もっと強いバックアップ体制をお願いしたい。</p>	<p>第3次プランでは、地域における活躍を促進するため、市町村や社会福祉協議会をはじめとした関係団体との連携強化を図ることとしています。</p> <p>いただいた御意見については、生涯大学校での学びを活かし地域で大いに活躍いただくため、検討させていただきます。</p>
	<p>「防犯・防災」「地域の歴史・文化の伝承」について支える側の視点で特に繰り返される「高齢者層の特殊詐欺被害と交通関係違反事故」への深掘りと繰り返し学習化を図っていただきたい。</p> <p>また、「地域の考古・民族・文化財精通者もしくは団体等との一体化が必要であり働きかけを図り、具体化してほしい」</p>	<p>第3次プランでは、全学生が学ぶ基礎科目を設置し、この中で防犯・交通安全対策や県の郷土史についても学習することとしています。</p> <p>いただいた御意見については、今後、詳細な学習内容を検討する上での参考とさせていただきます。</p>
	<p>運営として苦情解決体制の構築を明記すべき。</p>	<p>いただいた御意見については、より良い学校運営とするための参考とさせていただきます。</p>
	<p>1週間を有効に活用する手段として、生大卒業生学習会の登校日は学園登校日と切り離していただきたい。</p>	<p>いただいた御意見については、より良い学校運営とするための参考とさせていただきます。</p>
	<p>東総学園本校舎に全学部が揃う回数が増えないか。一堂に会する行事が少ない。</p>	<p>いただいた御意見については、より良い学校運営とするための参考とさせていただきます。</p>
<p>講師の選択と年会費(授業料?)の低額の改善</p>	<p>いただいた御意見については、より良い学校運営とするための参考とさせていただきます。</p>	

区分	御意見の概要	県の考え方
	学園登校を楽しくするための授業を継続してほしい	第3次プランでは、学生の意欲や能力、さまざまな得意分野を活かした形での社会参加につながるよう、コースの再編等を行うこととし、学生にとってより魅力ある学習内容とすることを目指しています。 生涯大学校がより多くの高齢者にとって魅力ある学びの場となるよう今後も取り組んでまいります。
	学生募集のお知らせ時期を2学期早々にお願いしたい	いただいた御意見については、今後、学生募集を行う際の参考とさせていただきます。
	学生自治会は、在学生全員が加入を求められ、会費も納入している。活動も、広報・文化活動など学園のための活動であるので、対外情報発信のために、学園のサーバーを一定ルールのもとで使用できる許可を求める。	いただいた御意見については、より良い学校運営とするための参考とさせていただきます。
	在校生の利便性向上のため、駐車場の確保	いただいた御意見については、より良い学校運営とするための参考とさせていただきます。
	生大の卒業生の多くは地域に貢献している。 卒業生の団体を一堂に会し、「活動実績」の発表会を提案します。きっと県政が求めた以上の成果・効果があると思う。	生涯大学校やその卒業生・卒業生団体の活動については、積極的に情報発信を行うこととしています。御意見については、今後の運営の参考とさせていただきます。
	地域貢献により生大の卒業生の多くは健康寿命が長い。 生大の卒業生の健康寿命を調査補足ください。	いただいた御意見については、今後学校を運営する上での参考とさせていただきます。
その他の御意見	講義の教科書が体系的なものがない。予習をしようにも教科書がない。 また、講師の方は高齢が多く、滑舌が悪く聞き取りにくい。 学生は高齢のため、理解が遅く、初めての分野なのでもう少しわかりやすく、ゆっくりした講義にしてもらえると助かる。講義内容の難易度についてアンケートをとってほしい。定員充足を図るなら、もう少し魅力ある授業をお願いしたい。 受講生は、庭も畑も盆栽にも興味のない方もいる。授業内容を特化した選択制にしてもらえると授業で学んだことが活かせるのではないか。	第3次プランでは、学生の意欲や能力、さまざまな得意分野を活かした形での社会参加につながるよう、コースの再編等を行うこととし、学生にとってより魅力ある学習内容とすることを目指しています。 いただいた御意見については、今後、講師の選定やカリキュラムを作成する上での参考とさせていただきます。
	生涯大のホームページにはボランティアネットが掲載されているが、今は工事中になっている。まずは各学園の足元から至近な情報収集を再開して、登録を重ねれば利用可能な情報発信となる。 社協と自治会、地域団体は自らの活動に傾注から情報連携が期待薄では？	第3次プランにおいては、生涯大学校の存在意義の周知や入学者確保のため、広報の充実に力を入れることとしています。 いただいた御意見も参考とし、学校の様子や卒業生の地域活動情報等についてホームページやSNSを活用して発信するなどの取組を進めてまいります。
	コーディネーターは地域の担い手造りの推進役ながら、日常の業務は園芸と陶芸の助手的な立場と同じ位置にある。各コースの横断的な専門職をこなすには力不足が否めず、人員の複数体制を望み発言力を高めるためには、老練な臨時職員よりも元気な正規職員に委ねる時期にあるのでは？ 元地域活動学部と専攻科の学生は、卒業レポートを提出して「コーディネーター認定証」2級と1級を頂き学習の励みとなったが、是非継続すべきでは？	第3次プランにおいては、地域における活躍を促進するため、コーディネーターの役割を強化することとしています。 コーディネーターの情報収集能力やマッチング能力を向上させるため、研修の実施や情報交換の場を通じたコーディネーター相互の連携・協力体制の強化に取り組んでまいります。
	卒業生学習会を含む卒業生団体はコロナ禍で疲弊し会員が大きく減少している。卒業生団体の立て直しと新規組織化には在校生の加入が直結することから、学園が募集活動に積極的に関与し、まずは43団体の活動状況の把握が求められるのではないか。	第3次プランでは、学生や卒業生の地域での活躍を促進するため、生涯大学校や卒業生団体の活動について積極的に情報発信を行うこととしています。 いただいた御意見については、卒業生団体の情報発信を行う上で参考とさせていただきます。